

令和2年飯田市議会第4回定例会代表質問通告表

令和2年12月7,8日

No.	氏名	項目・要旨
1	竹村圭史 (会派のぞみ) 【 120 分 】	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 「新・環境文化都市」が描こうとする都市像は</p> <p>(2) 「いいだ未来デザイン2028」が中期計画へ移行する中において、行政の継続性に対する認識は</p> <p>(3) 「対話と現場主義で、心かよう市政」をつくるための考え方は</p> <p>(4) 「2050年、飯田は『日本一住みたいまちになる』」実現のため、この4年間ですべきことをどのように考えるか</p> <p>2 市政運営について</p> <p>(1) 「市民の声を反映できるまちづくりに取り組む」ための考え方は</p> <p>(2) 「市民の声が届く市役所となるよう改革する」ための考え方は</p> <p>(3) 市長の考える「真の現場主義」とはどのようなものか</p> <p>3 交通網・インフラ整備について</p> <p>(1) リニア駅周辺整備に伴い移転を余儀なくされる方々への対応の考え方は</p> <p>(2) リニア駅からの二次交通の考え方は</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の設置目的と今後の展開の考え方は</p> <p>5 文化振興について</p> <p>(1) 伝統文化をこの地域の宝として守るための考え方は</p> <p>(2) 飯田文化会館の建て替えに対する市長の考え方は</p> <p>6 子育て、教育について</p> <p>(1) 分娩体制の充実を図るための施策の考え方は</p> <p>(2) 大学(学部)誘致の可能性を探るうえで、ターゲットの考え方は</p> <p>(3) 文部科学省が中学校の休日の部活動を段階的に地域移行していくとの方向性を示したことに対する考え方は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	竹 村 圭 史 (会派のぞみ) 【 120 分 】	<p>7 産業振興について</p> <p>(1) 本社機能の地方移転やバックアップオフィス・サテライトオフィスを誘致するための考え方は</p> <p>(2) エス・バードを産業分野全般にわたる振興拠点とするためには</p> <p>(3) 「長野県SDGs未来都市計画」と連動した、環境・エネルギー分野の産業創出の考え方は</p> <p>(4) リニア時代を見据えた観光振興・交流人口拡大に向けた考え方は</p> <p>8 持続可能な美しいまちづくりについて</p> <p>(1) 「2050二酸化炭素排出実質ゼロ自治体(ゼロカーボンシティ)」宣言に向けた道筋は</p> <p>(2) 「燃料電池車や電気自動車の普及促進」を図るための施策は</p> <p>(3) 「リニア駅周辺を新・環境文化都市のモデル地区」とするための考え方は</p> <p>9 令和3年度予算編成について</p> <p>(1) 令和3年度予算編成にあたっての基本的な考え方は</p> <p>(2) コロナ禍における税収見込みは</p> <p>(3) 中長期的な財政見通しは</p>
2	小 林 真 一 (公明党) 【 90 分 】	<p>1 市政運営と予算編成について</p> <p>(1) 世界的パンデミックが起きている中、人口減少、少子高齢化という日本全体の課題に、市はどのように対応していくか</p> <p>(2) 外国人観光客、外国人労働者についての対応をどうしていくか</p> <p>(3) 「対話と現場主義」で「心かよう市政をつくる」について</p> <p>① 市長の思いは</p> <p>② 市長マニフェストには「対話と現場主義」で「心かよう市政をつくる」とあるが、具体的にはどのような活動をしていくのか</p> <p>③ 市民との対話に軸足を置くと考えるが、国、県との連携についての考え方は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
2	小林 真一 (公明党) 【 90 分 】	<p>(4) 市長は2050年「日本一住みたいまちになる」とし、「新・環境文化都市」創造プランを掲げた。どう「いいだ未来デザイン2028」の中期計画に落とし込み実現していくか</p> <p>(5) SDGsについて</p> <p>① SDGsに対する市長の考え方は</p> <p>② SDGsの理念・考え方を中期計画にどう反映させていくか</p> <p>③ 市民や、民間企業等への意識づけをどうしていくか</p> <p>(6) 本年、国勢調査が行われ、飯田市の人口も10万人を割ると考える。地方交付税の減少、税収の減少が考えられるが予算編成についてはどう考えるか</p> <p>2 Society5.0の到来へ向けて</p> <p>(1) Society5.0の到来へ向けて市長の思いは。また、かじ取りをどうするか</p> <p>(2) コロナ禍において行政手続きのデジタル化は急務と考えるが、現状の取り組みは。</p> <p>① デジタル化、オンライン化推進への取り組み状況は</p> <p>② 行政のデジタル化の一方で情報弱者を取り残さないための方策は</p> <p>3 ウイズコロナ、アフターコロナにおける小中学校の教育環境と交流人口・関係人口について</p> <p>(1) コロナ禍における小中学校の教育環境の課題は</p> <p>(2) GIGAスクール構想の加速における当市の現状は</p> <p>① 各小中学校にモバイル端末が配備された。児童・生徒の学習への取り組みの変化は。また、現在見えてきている課題は</p> <p>(3) ウイズコロナ、アフターコロナにおける交流人口・関係人口について、市長の思いは</p> <p>4 これからの子育て環境について</p> <p>(1) 男性にとっての男女共同参画推進による子育て参加しやすい環境づくりの考えは</p> <p>(2) 市長マニフェストでは、不妊治療への助成を強化とあるが、具体的な方策は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
3	原 和 世 (会派みらい) 【 100 分 】	<p>1 市長の市政運営に関して</p> <p>(1) 市政運営における基本的な考え方について</p> <p>① 「日本一住みたいまち」、「閉塞感」、「停滞感」の認識とは</p> <p>② 「対話と現場主義」で「心かよう市政」とは</p> <p>③ 県及び上伊那・周辺町村との連携を「結びなおす」とは</p> <p>(2) 政策転換を目指そうとする施策について</p> <p>① 前市政をどの様に評価するか</p> <p>② リニア駅周辺整備について乗り換え新駅設置方針の転換とこれまでの積み上げ議論は</p> <p>③ エス・バードの今後の運営指針について航空宇宙産業からの転換と新分野への展望は</p> <p>(3) 市政運営における今後の展望について</p> <p>① コロナ禍において想定される経済不況が次年度以降の市財政及び地域社会にどのような影響を与えると考えるか</p> <p>② 住民自治に関し、人口減少・中山間地施策・組合未加入をどう考えていくのか</p> <p>③ リニア新幹線静岡工区の遅延による開業時期の変更が地域経済と市財政に与える影響をどう考えるか</p> <p>2 マニフェストからみる新機軸の政策に関して</p> <p>(1) 目指す都市像について</p> <p>① 「文化経済自立都市」と「いいだ未来デザイン2028」、更に「新・環境文化都市」創造プランとの関係性は</p> <p>(2) 新型コロナについて</p> <p>① コロナ後を見据えた事業転換を行うためのサポートとは</p> <p>(3) 産業振興について</p> <p>① 地域内循環型経済の仕組みとブロックチェーンによる地域通貨を官民共同で開発とは</p> <p>② 域内発注、域内調達を促進するための助成策とは</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
3	原 和 世 (会派みらい) 【 100 分 】	<p>③ バックアップオフィス・サテライトオフィスの誘致、テレワークセンターの設置をどの様に進めるか</p> <p>④ 地元業者の「職人の技」を活かした「飯田版ZEH」推進とは</p> <p>(4) 子育て・教育について</p> <p>① 未満児保育・延長保育・学童クラブを充実できる組織・体制の整備とは</p> <p>② 小中学校の授業を「分かる」ようにするため「読解力」を高めるとは</p> <p>③ 「南信州全域に芝生グラウンドの整備」及び「複合アリーナ整備構想の早期にめど」とは</p> <p>(5) マニフェストの実現について</p> <p>① マニフェストの優先順位をどう考えているのか</p>
4	後 藤 荘 一 (日本共産党) 【 80 分 】	<p>1 今定例会での市長挨拶などから見る政治姿勢および新年度予算編成について</p> <p>(1) 市長の政治姿勢について</p> <p>① 日本国憲法の持つ3原則である、基本的人権の尊重、国民主権(主権在民)、平和主義(戦争放棄)に基づく憲法を、市政運営全般に生かすべきと考えるがどうか</p> <p>② 市長は、「対話と現場主義」で市民の声を聞く姿勢を職員にも求めたが、具体的にはどうか</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>① 検査・医療体制の充実と同時に、経済の再生を目指すと強調しているが、感染拡大が収束しない今、市民の命と暮らしを守ることを第一に考え、力を尽くすべきと考えるがどうか</p> <p>② コロナ対策として、また子どもたちの成長が確実になる「少人数学級」は、保護者ばかりでなく多くが求めるものと認識している。「国県の事業」と言わず市として取り組む考えは</p> <p>③ コロナ後の社会で、「グリーンリカバリー」の考え方、また、「地域内経済循環」を市政の経済政策の中心に据えて市政運営を図ることを強調しているが、具体的にはどうか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
4	後 藤 莊 一 (日本共産党) 【 80 分 】	<p>(3) 今年7月飯田市を襲った豪雨災害の経験から、気候変動と、災害を減少させる対策について</p> <p>① 1千世帯を超える土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)指定の解消と、河川や道水路の危険箇所を把握し、対策を図っていく考えは</p> <p>② 「気候変動対策」を「グリーンリカバリー」の考え方を使得て取り組むべきと考えるがどうか</p> <p>(4) 消費税について</p> <p>① 消費税が昨年10月増税されたが、飯田市民や業者への影響は</p> <p>② 地方消費税を含む市財政への影響は</p> <p>③ 消費税に対する市長の考えは</p> <p>④ 2023年10月から「適格請求書発行事業者登録(インボイス)」制度が始まるが、これへの対策は考えているか</p> <p>⑤ コロナ禍の中、市民の暮らしや営業を守る立場から消費税率を5%に減税するよう国に申し入れる考えは</p> <p>(5) 介護保険事業計画について</p> <p>① 2021年度からの第8期計画はどういう方針で取り組むか</p> <p>② 第7期計画では県内19市中最高額だった介護保険料について、第8期計画ではどう考えるか</p> <p>③ 総合事業対象者の弾力化が国から示されているが、市としてはどう考えるか</p> <p>④ 保険者機能強化推進交付金、介護保険保険者努力支援交付金に対する市としての考えは</p> <p>⑤ 国の負担割合を増額すべきと考えるが、市の考えは</p> <p>(6) リニア中央新幹線整備計画について</p> <p>① 駅周辺整備について</p> <p>ア トンネル工事などの本線工事が遅れている今、また、環境を守る観点からも駅周辺整備は立ち止まって見直す考えは</p> <p>イ 重点協議区域の設定について、駅周辺整備の面積は、地元からの要望で面積を縮小したとしているが、駅周辺整備区域の当初の面積7.8haは必要なものを積み上げたものではなかったのか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
4	後 藤 莊 一 (日本共産党) 【 80 分 】	<p>(7) 市財政について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 財政調整基金についての考え方は ② 人口10万人を切る中で地方交付税に対する考えは ③ 「あれかこれか」の選択で市民の暮らし優先の財政運営にすべきと考えるがどうか
5	福 澤 克 憲 (市民パワー) 【 70 分 】	<p>1 市長公約(マニフェスト)について</p> <p>(1) 「新・環境文化都市」創造プランについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 飯田市第4次基本構想基本計画(1996～2005年)に掲げられた「環境文化都市」との違いは ② 「持続可能な美しいまちづくり」の考え方は ③ 地域経済における「地域内経済循環」の考え方は ④ 市民の環境意識の醸成は <p>(2) 「日本一住みたいまち」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 30年後の飯田市を見据えた現状施策の整理、今後どのような事業展開を行うか <p>(3) 「対話と現場主義」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市長が行う「対話と現場主義」とは ② 「真の現場主義」を実現するための市役所の組織体制の見直しとは、どのようなものを想定しているか ③ 職員との対話と連携は <p>2 働くことを軸とする安心社会の実現に向けて(新型コロナウイルス感染症関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 当地域の雇用情勢をどのように分析しているか (2) 国・県の制度を受けての飯田市の施策の展開について <ul style="list-style-type: none"> ① これまでの施策の検証は ② 今後の展開は (3) 失業された方への就労支援の考え方は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
5	福 澤 克 憲 (市民パワー) 【 70 分 】	<p>3 地方財政について</p> <p>(1) 将来を見据えた飯田市予算の考え方について</p> <p>① 通常時の飯田市予算規模の考え方は</p> <p>② 予算・決算のピーク年度の想定は</p> <p>③ 今後の実質公債費比率の動向は</p> <p>④ 将来を見据えた飯田市予算の考え方は</p> <p>(2) 7月豪雨による災害復旧事業やコロナの影響による病院の特殊事情など、今後、地方交付税に大きく係る財政需要をどう考えているか</p> <p>4 地域自治について</p> <p>(1) 飯田市の地域自治について</p> <p>① 地域自治組織の今後の方向性は</p> <p>② パワーアップ地域交付金の検証は</p> <p>③ 地域コミュニティの拠点整備をどう考えるか</p>